



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

令和3年1月14日(木)高等学校改革関係事業等説明会資料

「スーパーグローバルハイスクールネットワーク (SGHネットワーク)」について

令和3年1月14日

文部科学省初等中等教育局
参事官(高等学校担当)付

1. 概要

2. Q&A

1. SGHネットワークの概要について

目的

高等学校等における国際理解教育及び外国語教育の水準のさらなる維持向上を図るため、**スーパーグローバルハイスクール (SGH) の取組を引き続き実施する高等学校等**を対象としたネットワークを構築し、文部科学省主催の全国高校生フォーラム及びグローバル人材育成全国連絡協議会への参加等、全国的な取組に継続的に参画することを通じて、**SGHの成果普及**と持続可能な**グローバル人材育成のネットワークづくり**を推進する。

SGH ネットワークへの参加要件

- ◆ 対象学校：国公立高等学校及び中高一貫教育校（中等教育学校、併設型及び連携型中・高）
※令和3年度においては、平成26年度から令和2年度までのSGH事業指定校及びSGHアソシエイトのうち、SGHの取組を引き続き実施する高等学校等を対象とする。
- ◆ 今後のスケジュール： 令和2年12月25日～参加募集開始
令和3年2月10日 参加申込み切
令和3年2月下旬 参加校の確定
令和3年4月 ～取組開始

◆要件

- ✓ グローバル人材像を設定し、当該人材像を踏まえ、卒業時に生徒が身に付けることのできる資質・能力を具体的かつ明確に定め、公表していること
- ✓ グローバル人材育成に資する課題研究又は先進的な課題研究等の実績を踏まえた、グローバル人材育成に資する発展的な実践に取り組む教育課程等を編成していること
- ✓ 国内外の高校・大学・国際機関等との連携により、より実践的で高度な学習活動が行われていること
- ✓ グループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーション、プロジェクト型学習等の手法が、外国語によるものも含め、生徒の主体的な学びを促すものとして効果的に取り入れられていること
- ✓ 一定期間ごとに、本取組に関する自己評価・学校関係者評価を実施すること



文部科学省主催

- ◆ **全国高校生フォーラム**への参加
- ◆ **グローバル人材育成全国連絡協議会**への参加 等
- ※SGHロゴマークの使用も可

★SGH事業を通じて、全国の高等学校に形成されたグローバル人材育成プログラムの内容と運営の経験知、国内外のネットワーク等、**有形無形のリソースを共有し、魅力的な教育課程の充実や国際的なつながりの拡大など、SGHの取組のさらなる質的・量的な発展を目指す。**

★グローバルな社会課題を発見・解決し、持続可能な社会の構築に寄与する人材（国際機関職員、社会起業家、グローバル企業の経営者、政治家、研究者等）の輩出

1. SGHネットワークの概要について

目的

高等学校及び中高一貫教育校（中等教育学校，併設型及び連携型中学校・高等学校）（以下「高等学校等」という。）における国際理解教育及び外国語教育の水準のさらなる維持向上を図るため，スーパーグローバルハイスクール（以下「SGH」という。）の成果を踏まえ，継続的発展的に取り組む高等学校等を中心としたネットワーク（以下「SGHネットワーク」という。）を構築し，SGHの成果普及と持続可能なグローバル人材育成を推進することを目的とする。

1. SGHネットワークの概要について

参加対象校及び参加要件

SGHネットワークへの参加対象校は、平成26年度から28年度までにSGH指定校又はSGHアソシエイトとなった高等学校等とし、参加要件については次のとおりとする。

(1)各学校において育成を図るグローバル人材像を設定し、当該人材像を踏まえ、卒業時に生徒が身に付けることのできる資質・能力を具体的かつ明確に定め、公表していること。

【参加申込書記入に当たり】

各学校においてSGHにおける取組により育成を図るグローバル人材像を設定しながら、どのような資質・能力を身に付けさせるのかを具体的かつ明確に記入し、またその公表方法について記入してください。

(参考) スーパーグローバルハイスクール研究開発完了報告書 (別紙様式3) 「4 研究開発概要」

1. SGHネットワークの概要について

参加対象校及び参加要件

(2)グローバル人材育成に資する課題研究又は先進的な課題研究等の実績を踏まえた、グローバル人材育成に資する発展的な実践に取り組む教育課程等を編成していること。

【参加申込書記入に当たり】

当該学校が育成を目指すグローバル人材像を踏まえ、課題研究又はグローバル人材に資する発展的な実践において扱う研究領域やテーマについて記入してください。その際、当該内容は学校として質の高い指導体制や実践的な研究が担保できるテーマとし、可能な限り具体例を示してください。

**(参考) スーパーグローバルハイスクール研究開発完了報告書 (別紙様式3)
「8 5年間の研究開発を終えて」**

(3)国内外の高等学校・大学・国際機関等との連携により、より実践的で高度な学習活動が行われていること。

【参加申込書記入に当たり】

国内外の高等学校・大学・国際機関等と連携して行う学習活動の内容について具体的に記入してください。

**(参考) スーパーグローバルハイスクール研究開発完了報告書 (別紙様式3)
「6 研究開発の実績」**

1. SGHネットワークの概要について

参加対象校及び参加要件

(4) グループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーション、プロジェクト型学習等の手法が、外国語によるものも含め、生徒の主体的な学びを促すものとして効果的に取り入れられていること。

【参加申込書記入に当たり】

生徒の主体的な学びを促すものとして効果的に取り入れられているか具体的に記入してください。

(参考) スーパーグローバルハイスクール研究開発完了報告書 (別紙様式3)

「6 研究開発の実績」

(5) 一定期間ごとに、SGHネットワークへの参加に関する取組を含め、自己評価を実施するとともに、学校関係者評価の実施に努め、その結果を公表すること。

【参加申込書記入に当たり】

SGHの取組内容を含め、各学校の教職員が行う「自己評価」と、保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う「学校関係者評価」について、記入してください。

(参考) スーパーグローバルハイスクール研究開発完了報告書 (別紙様式3)

「7 目標の進捗状況、成果、評価」

1. SGHネットワークの概要について

スケジュール

令和2年12月25日（金） 参加募集開始

令和3年2月10日（水） 参加申込提出〆切

2月下旬 参加校の確定

4月～ 取組開始

※上記のスケジュールは、現時点の予定で有り、変更となる可能性があります。

2. Q&A

質問 以前 S G H 指定校で、現在は W W L 事業拠点校・共同実施校・連携校または地域との協働による高等学校教育改革推進事業指定校です。その場合、本ネットワークへの参加申込は可能でしょうか

回答 S G H ネットワークの参加対象は、平成 2 6 年度から 2 8 年度までに S G H 指定校又は S G H アソシエイトとなった高等学校等であるため、その条件を満たしていれば現在他の事業の指定校等であっても、参加申込は可能です。

質問 S G Hネットワークへ参加することを以って、例えば、WW L や S S H等の他の事業の採択に影響することはありますか？

回答 S G Hネットワークへ参加することを以って、WW L や S S H等の他の事業に採択されなくなることはありません。

質問 今回のSGHネットワークは、以前紹介されたSGH課程認定制度とは別のものでしょうか

回答 別のものではありません。

令和2年8月19日に開催された、中央教育審議会 初等中等教育分科会 「新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ（第10回）」に提示された内容について、SGHネットワークとして実施するものです。

質問 「スーパーグローバルハイスクールネットワークの参加に関する規程」の3.(3)に記載されている文部科学省主催のグローバル人材育成全国連絡協議会は、WWL事業に係る連絡協議会とは別開催のものでしょうか。

回答 別開催ではございません。

文部科学省主催の全国高校生フォーラム及びグローバル人材育成全国連絡協議会等には、令和3年度においてはWWL事業の一環として開催するものに参加していただくことを考えております。

文部科学省 初等中等教育局
参事官(高等学校担当)付 高校改革推進室
担当:田中 田口 黒川 西馬

TEL:03-6734-3300

E-mail: sgh@mext.go.jp

SGH専用HP: <http://www.sghec.jp/>